

ふかるとを知らう シリーズ⑫

北島雪山(三立)

北島雪山の父宗宅は、豊後久住の大夫一族志賀八郎能郷の十八代目にあたり、代々「三立」と名乗り、合志郷村吉に住んでいました。やがて宗宅は、加藤清正の侍医、加藤忠広の改易後は、細川藩主の藩医となりました。



北島雪山の墓(泗水町村吉)

北島雪山(一六三六〜九七)は、寛永十三年熊本で宗宅の次男として生まれ、後に藩医北島家を嗣ぎ、北島三立と号しました。少年時代には、藩主の許可を得て、父と共にしばしば長崎に遊学。明国亡命の黄檗宗僧侶雪機や独立、兪立德から文徴明の筆法を学び、後に唐様書風の「雪山流」を始めました。また、雪山は兪立德から「陽明学」を学び、加藤清正が建立した妙永寺の日取上人からは、書と「朱子学」を学んでいます。壮年時代には江戸に遊学、林春斎や木下順庵らの諸儒と交わり、陽明学者で能書家として知られていました。

雪山は、寛文四(一六六四)年、藩主細川綱利に高四〇〇石で儒医として召し抱えられましたが、同十(一六七〇)年十月

(文書) 社会教育指導員 堤 克彦

文教菊池の人々(江戸期の人物篇)

コミュニティ活動補償制度 ボランティア活動などの保険があることをご存じですか?

区、子供会、老人会などが行うボランティア活動やスポーツなどは、地域社会の発展や市民の健康増進に大きな役割を果たしています。でも、活動中に事故が起きたら...

市内に活動の拠点を置き、5人以上の市民によって組織された市民団体(政治、宗教、営利等を目的とするものを除く)が本来の仕事と兼ねて行う、継続的、計画的な公益性のある市民活動中の事故。

- 地域社会活動 区活動、運動会、祭り、清掃美化活動など。
青少年育成活動 子供会の諸活動、非行防止パトロールなど。
社会福祉奉仕活動 社会福祉施設支援活動、在宅老人・身障者等のホームヘルプなど。
社会教育活動 青年団、婦人会、PTA(ただし、学校管理下中は除く)、公民館などによるスポーツ・レクリエーション活動など。
社会体育活動 有志によるスポーツ活動(野球チームなど)

市主催事業への参加、手伝い市民体育大会、一日一汗運動への参加など。
過去の該当事例
区活動 清掃活動(人築、運動会、祭り)、ミニバレーボール大会など。
市民活動 子供達の学習会など。
対象とならない活動など
山岳登山、スカイダイビングなど危険を伴うスポーツ。
指導者や参加者の故意による事故。
地震、噴火、洪水などの自然災害によるものなど。

補償の内容
1 傷害補償
指導者スタッフもしくは参加者が死亡または後遺障害を被つたり、入院・通院治療を要するケガをした場合の傷害事故。
2 賠償責任補償
団体の指導者もしくはスタッフの過失により参加者や第三者にケガをさせたり、財物に損害を与え法律上の賠償責任を負つた場合。
事故が起きてからの手続きです
市民の皆さんを補償対象者として、市が保険会社と保険契約を結んでいるため、事前の申し込みや登録などの手続きは必要ありません。
そのため事故が起きたらすぐ(2週間以内)に、団体の責任者を通じて、次まで連絡してください。

就職に必要な知識と技能を修得しませんか
独立行政法人 雇用・能力開発機構熊本センターでは、求職している人の就職、再就職が有利になるよう、民間教育機関(専門学校など)に職業訓練を委託し、これから就職しようとしている職業に必要な知識・技能を習得できるように応援しています。
申込資格
ハローワーク(公共職業安定所)に求職申込みをしている離職者
申込受付
最寄りのハローワークで職業相談の上、受講申し込みをしてください。後日、受講の可否結果を郵送します。
申込受付期間
7月23日(月)〜8月6日(月)
※土・日・祝祭日は除く
定員 20人
訓練会場 トレジャーオプテック/ロジック株式会社
訓練期間
9月4日(火)〜11月28日(水)
必要経費 入学金、受講料は無料。教科書などの諸経費は自己負担。
問い合わせ先
独立行政法人 雇用・能力開発機構熊本センター委託訓練係
096(242)0394

平成19年度(前期) ビジネス・キャリア検定試験
ビジネス・キャリア検定試験は、人事評価・人材開発やビジネス・パーソンのキャリアアップに一層活用できるように、従来のビジネス・キャリア試験の試験単位(ユニット)を、企業の職務内容に対応して大括り化する。
平成19年度から新たにスタートします。
なお、詳細は中央職業能力開発協会のホームページをご覧ください。
URL
http://www.bc.jvada.or.jp
平成19年度前期試験は、次のとおり実施されます。
受験申請受付
8月1日(水)〜8月29日(水)
試験実施日
10月14日(日)
受験資格
受験制限はありませんので、年齢や実務経験の有無によらず、ごなたでも受験できます。
問い合わせ先
熊本県職業能力開発協会
総務・開発振興課
096(384)1711

人権同和教育シリーズ②⑥
大切なもの
旭志中2年 森 春香
私の大切なものは、家族、友だち、命です。一番大切なものは、家族、友だちも大事だけれど命だと思います。その命は私の命もただ、私の命も一番大事です。どの人の命も同じぐらいの価値があります。でも、その大切な命をうばう戦争、いじめ、部落差別は、今も世界中に残っています。
人を平気で傷ついたり、バカにしたり、色々な人が苦しむのを喜んだり。「差別はいけないと思います」と、口ばかりで言って、差別がなくな
るわけがありません。私も小学校4年生の時、口ばかり「差別をなくすために、努力していきます」と言って、本当は「人権学習なんてめんどうくさいな、早く終わらないかな」と思っていました。
でも、5年生のときに水保病のことを勉強して「こんなひどい差別をずっと受けつづけてきたのか」と思い、差別への怒りがこみ上げてきました。
それから、人権学習にまじめに取り組む、色々な人から話を聞きました。その中で心に残った話があります。それは、ある差別を受けていた女の子が「差別はいけない事だと思えます」でなく「差別は絶対許さない」という気持ちで闘っていったこと。
「差別をなくすために、努力してきます」と言って、本当は「人権学習なんてめんどうくさいな、早く終わらないかな」と思っていました。
でも、5年生のときに水保病のことを勉強して「こんなひどい差別をずっと受けつづけてきたのか」と思い、差別への怒りがこみ上げてきました。
それから、人権学習にまじめに取り組む、色々な人から話を聞きました。その中で心に残った話があります。それは、ある差別を受けていた女の子が「差別はいけない事だと思えます」でなく「差別は絶対許さない」という気持ちで闘っていったこと。
「差別をなくすために、努力してきます」と言って、本当は「人権学習なんてめんどうくさいな、早く終わらないかな」と思っていました。
でも、5年生のときに水保病のことを勉強して「こんなひどい差別をずっと受けつづけてきたのか」と思い、差別への怒りがこみ上げてきました。
それから、人権学習にまじめに取り組む、色々な人から話を聞きました。その中で心に残った話があります。それは、ある差別を受けていた女の子が「差別はいけない事だと思えます」でなく「差別は絶対許さない」という気持ちで闘っていったこと。

差別のない明るいまちづくり人権啓発講演会
人権教育のつどい
とき 7月25日(水)
午後6時30分・開場 / 午後7時・開演
ところ 七城公民館「講堂」
講師 エッセイスト 字幕製作ディレクター 金 正美(きむ ちよみ)さん
演題 故郷の光の中へ〜詩人桜井哲夫との歳月〜
講師プロフィール
1976年生まれ。NHKにんげんドキュメント「津軽・故郷の光の中へ」企画・出演。全盲の元ハンセン病患者、桜井哲夫氏の60年ぶりの帰郷に同行した様子を描いたもので、ハンセン病を知らない人々にも大きな反響を呼び、多くの賞を受賞されている。
・第28回放送文化基金賞テレビドキュメント部門本賞受賞
・第38回文化庁芸術祭ラジオ番組部門優秀賞受賞ほか
プログラム
開場 午後6時30分〜
オープニング(七城天守太鼓演奏)
午後7時〜午後7時15分
開会行事 午後7時15分〜午後7時30分
講演 午後7時30分〜午後9時
主催 菊池市、菊池市教育委員会、菊池市人権・同和育推進協議会
問い合わせ先 七城総合支所総務振興課・教育委員会七城分室教育課 ☎(25)1580・人権啓発課